

## 第52回全国中学校ソフトテニス大会における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、（公財）日本中学校体育連盟「令和3年度全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン（2021.4.1）」、（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（2020.6.2）」、栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（2021.3.18 ver.3）」、那須地区学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（2021.3.18 ver.5 改訂版）」等を踏まえて、第52回全国中学校ソフトテニス大会における感染拡大予防のための留意点についてまとめたものです。今後の知見集積及び感染状況を踏まえて、随時見直すことがあり得ることに御留意ください。

また、各様式の使用紙は必要分をコピーし活用してください。

### 1 大会開催前の対応

- （1） 顧問等は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加にあたっての注意事項を事前に説明し、「**同意書**」【様式5】を提出させること。記入された同意書は校長に提出すること。
- （2） 顧問等は、参加選手に対して、大会前後2週間分（計約4週間分）の体調を記録した「**体調記録表**」【様式1】を配付し、記録を求めることで健康管理を徹底すること。「**体調記録表**」【様式1】は顧問が保管すること。
- （3） 顧問等は、大会当日に「**学校同行者体調記録表**」【様式2】を検温所に提出できるよう、作成しておくこと。
- （4） 顧問等は、各学校で「**学校同行者体調記録表**」【様式2】に記載された者以外の来場者に対し、「**来場者体調記録表**」【様式3】を配付し、検温所に提出することを伝えること。
- （5） 試合に関わる全てのもの（大会役員、審判、指導者、選手）は、大会前後2週間分（計約4週間分）の行動を、「**行動履歴書**」【様式4、様式4-2】に記録すること。
- （6） 会場への入場は、選手（個人戦の場合は1ペアにつき2名までサポートメンバー入場可、団体戦の場合は団体戦メンバー8人以外に2名までサポートメンバー入場可）、監督・コーチ、保護者（選手1名につき保護者1名のみ）とする。  
※サポートメンバーとは、怪我等が起きた場合の変更選手。また、練習をサポートする選手のことをいう。  
※個人戦において、各学校で複数ペアが出場する場合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した上で、サポートメンバーは必要最低限の人数にしてほしい。
- （7） 会場への移動等は、各学校で責任をもって行い、集団感染のリスクを避けること。
- （8） 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、顧問等は栃木県実行委員会ソフトテニス実行委員会事務局（市川健）に速やかに濃厚接触者の有無等について報告し、関係機関に公表する必要があることを了承した上で参加すること。

## 2 大会当日の対応

### (1) 会場入場について

- ア 引率者は、参加選手から「**体調記録表**」【様式1、様式1－2】を回収し、参加者の体調を確認した上で「**学校同行者体調記録表**」【様式2】を検温所に必ず提出すること。
- イ 「**学校同行者体調記録表**」【様式2】に記載された引率者と選手は、検温所で必ず検温した上で入場すること。
- ウ 「**学校同行者体調記録表**」【様式2】に記載された者以外の来場者に対し、検温所で「**来場者体調記録表**」【様式3】を提出し、検温した上で入場すること。
- エ 大会役員等は、「**来場者体調記録表**」【様式3】をクラブハウス受付所に必ず提出し、検温を行うこと。

### (2) 準備運動や朝の練習について

- ア 準備運動は密を避けて行うこと。
- イ 練習は指定されたコートまたは、野球場内の指定エリアで、密にならないように練習をすること。

### (3) 開会式について

- ア 原則開会式は実施せず、競技上の注意等のみの開始式を行う。
- イ マスクを着用し、一定の間隔を保ち整列すること。（目印を設置する。）
- ウ コートへの出入り口は、整列場所から近いドアを使用すること。

### (4) 参加者の感染防止策について

- ア 大会中は、競技等実施時及び食事中等を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底すること。ただし、活動中の気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、周囲の人と適切な距離を確保した上でマスクを外すこと。
- イ 会場内では、周囲の人との距離（できるだけ2メートル。最低1メートル）をできるだけ確保すること。
- ウ 大きな声で会話、応援等はしないこと。
- エ 応援者は、観客席が密にならないように、できるだけ一定の距離（最低1メートル）を保って観戦すること。
- オ 目安として、1時間に1回は手洗い（30秒以上）、手指消毒を行うこと。
- カ ごみは各自持ち帰ること。
- キ 会場内における唾、痰を吐く行為を厳禁とすること。
- ク 飲食時は、周囲の人とできるだけ距離を確保して対面を避け、会話は控えること。
- ケ 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用をしないこと。
- コ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- サ マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共用、使い回しを行わないこと。
- シ トイレは、密集・密接を避け使用すること。

### (5) 試合中の感染防止対策について

- ア コート入退場時に、選手、監督・コーチ及び審判団は手指消毒を行うこと。
- イ 試合中には、十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用すること。
- ウ コート内においても一定の距離を確保するよう努めるとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること。
- エ 試合前の練習及び試合において、選手が密集・密接する円陣や声出しは行わないこと。

- オ 試合開始前の挨拶・トス及び試合後の挨拶はネットから1 m以上離れて行うこと。
- カ 試合後の選手間での握手は行わないこと。
- キ ペアとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
- ク 観戦をしている者は、応援はしないこと（拍手は認める）。
- ケ 団体戦においてコートに入場できるのは、選手、監督・コーチとし、待機選手、監督・コーチは一定の距離（最低1メートル）を保つこと。
- コ 監督・コーチの試合中のチェンジサイズ時のコーチングは、対面しないで行うこと。

(7) 閉会式について

- ア 原則閉会式は実施せず、表彰（第5位以上のペアまたはチーム）のみ実施する。
- イ マスクを着用し、指定された椅子に着席すること。

(8) その他

- ア 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食後、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声掛けを行う等、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底すること。
- イ 引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策をとること。
- ウ 可能であれば各学校で、アルコール等の手指消毒剤を準備すること。
- エ 各学校の荷物置き場が密にならないようにすること。

3 大会終了後の対応

- (1) 大会終了後に参加者の健康状態を把握すること。
- (2) 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合、顧問はソフトテニス実行委員会事務局（市川健）に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

4 大会実施時の体調不良者発生時の対応

(1) 入場時、受付時での体調不良者発生時の対応

- ア 「学校同行者体調記録表」【様式2】、「来場者体調記録表」【様式3】の提出内容を以下のポイントで確認する。

＜確認ポイント＞

- ・ 発熱や風邪の症状の有無
- ・ 当日の検温記録、体調記録表の記入漏れの有無
- イ 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は、入場、受付を取りやめる。記入の不備については、不足項目の確認（検温）を行う。
- ウ 体調不良者（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）または症状が確認された者については、実行委員会に報告の上、帰宅（または帰宿）を促し、各自医療機関を受診するよう伝える。
- エ 4（1）ウに該当する選手、監督・コーチがいた場合、その学校のチームまたはペアを棄権扱いとする。

(2) 入場後、競技会期間中の体調不良者発生時の対応について

ア 選手団内において、体調不良者（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）が確認された場合は、ブロック長に報告を行う。

イ ブロック長は、状況を実行委員会に報告し、緊急性も含め、救護所の医師らの指示に従う。

ウ 診察の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所の指示に従い、適切に対応する。

エ 4（2）ウに該当する選手、監督・コーチがいた場合、その学校のチームまたはペアを棄権扱いとする。

オ 対戦した相手チームまたはペアの選手や監督・コーチに、4（2）ウに該当者がいた場合、そのチームまたはペアの大会参加を認めず、棄権扱いとすることもあり得る。

(3) 症状があり帰宅を促す際の対象者への案内

ア 体調記録表に挙げられた項目の症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。

イ 症状が続かなくとも、弱い症状だと思う場合も同様、最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。

5 実行委員会の対応

(1) 大会本部、受付場所、コート出入口等には、手指消毒液等を配備する。

(2) トイレや手洗い場には、石けんを用意し、「手洗いは30秒以上」等の表示を掲示する。

(3) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示を掲示する。

(4) 受付場所には、アクリルパーテーションを設置する。

(5) 受付場所には、距離をおいて並べるように目印の設置を行う。

(6) マスクの予備を準備する。

(7) ネットの調整・管理は、審判部が行う。

(8) コート整備は担当者が行い、コートブラシの取手も消毒を行う。

(9) 大会本部やトイレ、更衣室、休憩室は、一度に入室できる人数を制限するなど、他の参加者と密になることを避ける。また、換気扇を常に回す、換気用の小窓を開けるなど換気に配慮する。

(10) トイレのドアノブ、トイレレバー、手すり、コート入り口の取手等の定期的な消毒を行う。

(11) 大会中、選手や引率者に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るようアナウンス等で確認を促す。

(12) 会場内の巡回を実施し、感染症対策について注意喚起を実施する。

(13) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、「**学校同行者体調記録表**」【様式2】、「**来場者体調記録表**」【様式3】を栃木県実行委員会ソフトテニス実行委員会事務局（市川健）が保管する。保存期間は1ヶ月とする。

(14) 大会本部が新型コロナウイルス感染症拡大予防対策で準備する物品は以下のとおり。

- ・アルコール消毒剤    ・マスク    ・液体石けん    ・非接触型体温計
- ・ペーパータオル    ・使い捨て手袋    ・アクリルパーテーション    ・マーカー